

# 新株式発行届出目論見書の訂正事項分

平成18年 8 月  
(第 1 回訂正分)

## 株式会社ネットエイジグループ

「第二部 企業情報」の記載事項のうち、記載内容の一部を訂正するため、証券取引法第 7 条により有価証券届出書の訂正届出書を平成18年 8 月 3 日に関東財務局長に提出しておりますが、その届出の効力は生じておりません。

- 新株式発行届出目論見書の訂正理由  
平成18年 7 月31日付をもって提出した有価証券届出書の記載事項のうち、記載内容の一部を訂正するため、有価証券届出書の訂正届出書を提出いたしましたので、新株式発行届出目論見書を訂正いたします。
- 訂正箇所及び文書のみを記載してあります。なお、訂正部分には\_\_\_\_を付し、ゴシック体で表記しております。

## 第二部【企業情報】

### 第 2 【事業の状況】

#### 1 【業績等の概要】

##### (1) 業績の状況

##### ① インターネット関連事業

インターネット関連事業の中核となる(株)ネットエイジは、インターネット広告市場が拡大する中で、携帯電話向け広告配信サービス (K L A S S) の事業拡大に注力してまいりました。

なお、当連結会計年度においてソフトウェア販売を行うデータセクション(株)及びコンテンツ連動型広告配信サービスを行う(株)R S S 広告社の株式取得を行い、両社は(株)ネットエイジの子会社となりました。

この結果、当連結会計年度における売上高は1,249,479千円(前期比98.4%増)となり、営業利益 104,460千円 (前期は53,284千円の営業損失) となりました。

(注) 連結子会社の(株)アルトビジョンは決算期が 6 月であるため平成18年 3 月31日時点で仮決算を行い、当社と連結しております。

## 7【財政状態及び経営成績の分析】

### (2) 経営成績の分析

当連結会計年度における売上高は1,896,791千円となり、売上総利益は972,662千円となりました。セグメント別では、インターネット関連事業は売上高1,249,479千円、営業利益104,460千円、ファイナンス・インキュベーション事業は売上高647,312千円、営業利益439,362千円となりました。インターネット関連事業はKLASSの営業拡大により、初の黒字計上となりました。また、ファイナンス・インキュベーション事業は保有株式の売却が堅調に進み、増収・増益となりました。

販売費及び一般管理費については、営業人員の増加等により598,888千円となりました。

この結果、営業利益は373,773千円、経常利益は363,472千円、当期純利益は199,480千円となりました。

## 第5【経理の状況】

### 1【連結財務諸表等】

#### (1)【連結財務諸表】

注記事項

(セグメント情報)

#### 【事業の種類別セグメント情報】

当連結会計年度（自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日）

<欄内の数値の訂正>

「インターネット関連事業（千円）」の「営業利益又は営業損失(△)」の欄：「108,385」を「104,460」に訂正